



# 第2回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開している関西の先生方にご講演をいただき、製薬企業、医療機器企業、診断薬企業、健康食品、サプリ、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・健康産業に対するインスピレーションおよび産業化へのイメージーションを与えることを目的としています。このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティーを醸成し、産官学の対話を促進することにつながると期待されます。

本セミナーは、2～3か月に一度の頻度で開催し、全10回を予定しております。毎回、2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題を聞くことができ、講師の先生と直接お話しいただける場を提供します。

第2回目は、心血管系疾患や慢性臓器障害の重大なリスク要因となるメタボリックシンドロームと新たな創薬手法として期待される計算生物学分野の最新の技術をテーマにとりあげます。皆様のご参加をお待ちしております。

**【日 時】** 2014年12月15日(月)16:00～19:00

**【会 場】** ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C-01 (グランフロント大阪北館 タワーC 8階)

地図 → [http://www.kc-space.jp/accessmap/conference/towerc\\_access.html#jump](http://www.kc-space.jp/accessmap/conference/towerc_access.html#jump)

**【参加費】** 無料(交流会:1,000円)

**【主 催】** NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、公益財団法人都市活力研究所

**【後 援】** 大阪医薬品協会

16:00～17:00 「メタボリックシンドロームの病態学と治療標的」

大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌代謝内科学 教授 下村 伊一郎

日本人は、皮下脂肪への貯蔵能が低く、過食・高脂肪食・運動不足による内蔵脂肪蓄積を基盤として、種々の代謝病、慢性臓器障害に至る。これらの病態の上流因子として、脂肪組織酸化ストレス、アディポサイトカイン産生異常、慢性炎症が注目される。我々は、通常のサイトカインやホルモン因子に比し、 $10^3 \sim 10^6$ 倍のオーダーで血中に存在するアディポネクチンの特異的な機能発現・制御機構、また最近、S100A8因子が肥満脂肪組織炎症の起点となっていることを見いだした。本セミナーではこれらの治療標的としての意義に関して考えたい。

17:00～18:00 「計算生物学によるシステムの理解から創薬へ」

独立行政法人医薬基盤研究所 プロジェクトリーダー 水口 賢司

各種ハイスループット実験技術の進展により創薬におけるコンピュータ解析の重要性はいつそう高まっている。大規模データからの知識抽出型の計算生物学研究は、創薬の多くの場面において実験研究を主導する貢献が期待されるだけでなく、システムの理解に基づく新たな多元的創薬プロセスの構築をもたらす可能性がある。本講演では、C型肝炎、乳癌など具体的な応用例を紹介しながらそのような展望を議論したい。

18:00～19:00 交流会・名刺交換会

【会場】公益財団法人都市活力研究所セミナー室(グランフロント大阪北館 タワーC 7階)

【申込先】公益財団法人都市活力研究所のWEBサイトからお申込みください。 URL: <http://www.urban-ii.or.jp/>

【締 切】2014年12月12日(金) ただし、定員(70名)に達し次第、締め切らせていただきます。

【問合先】NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話:06-6459-6795 (魚谷、梅村、大嶋)  
公益財団法人都市活力研究所 電話:06-6359-1322 (味村)